

# 村山市橋梁個別施設計画

令和元年 8月

村山市建設課

○平成26年3月に公布された「道路法の一部を改正する法律」及び「道路法施工規則の一部を改正する省令」により、2m以上のすべての橋梁に関し、5年ごとの近接目視による点検が義務付けられています。

○平成30年度に発注した点検診断業務で、村山市が管理している全ての橋梁の、1度目の法定点検及び診断が終わりました。以後、継続して実施します。

○これらの結果を元に、橋梁個別施設計画を作成し、計画的な架替・補修を実施していきます。

○橋梁点検の判定区分は次のとおりです。

健全性の診断区分		
	区分	状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

# 村山市橋梁個別施設計画

道路橋名	フリガナ	路線名	架設年次 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検 実施年度	橋梁全体の 判定区分	所見等 ※変状・損傷の概要 ※判定区分Ⅱ以上を記載	補修履歴
西新町橋	ニシンマチ	新町南1号線	1974	13.6	7.0	H26	I b		
的場橋	マトハ	村山駅東沢線	1962	5.0	9.4	H26	I a		
大沢橋	オサワ	村山駅東沢線	1962	5.0	9.0	H26	I a		
蓬田橋	ホウダ	楯岡名取線	1958	3.0	4.3	H30	Ⅲ	主桁に広範囲の剥離・鉄筋露出が確認される。	
湯沢橋	ユザワ	北町湯沢線	1978	4.3	7.0	H26	I a		
長面橋	ナガオモテ	楯岡長瀬線	1972	16.1	6.5	H27	Ⅱ	床版にひび割れ、剥離・鉄筋露出が確認される。	
横巻橋	ヨコマキ	楯岡北河島線	1997	7.5	11.8	H26	I a		
桜町橋	サクラマチ	桜町住宅線	1968	3.9	5.3	H30	Ⅱ	主桁及び下部工に剥離・鉄筋露出が確認される。	
十二神社橋	ジュウニジンジャ	河原加藤次線	1984	5.7	10.5	H26	I a		
山下橋	ヤマノタ	河原加藤次線	1983	4.5	27.7	H26	I a		
道田橋	ドウテン	東新町東5号線	1973	8.1	8.2	H30	Ⅱ	主桁及び下部工に剥離・鉄筋露出が確認される。 床版下面に広範囲の遊離石灰が確認される。 防護柵に腐食による孔食・減肉が確認される。	
道田南橋	ドウテンミナミ	東新町東5号線	1972	5.6	15.0	H30	Ⅱ	頂版に剥離・鉄筋露出が確認される。側壁にひび割れが確認される。ガードレールに変形・欠損が確認される。	
俵堰橋	タラベキ	俵町線	1972	12.5	3.6	H26	I a		
灰塚橋	ハイヅカ	楯高西南線	1968	5.6	3.3	H26	Ⅱ	橋台に縦壁に剥離・鉄筋露出が確認される。	
カラメドウ橋	カラメドウ	カラメドウ畜産団地線	1984	8.8	4.0	H26	I a		
大沢川橋	オサワガワ	笛田桜町線	1968	4.7	3.5	H26	Ⅱ	地覆に剥離・鉄筋露出が確認される。	
渋田橋	シブタ	新町作野線	1981	11.4	7.0	H26	I b		
江迎東橋	エムカエヒガシ	東新町南8号線	2002	6.6	16.0	H26	I a		
江迎橋	エムカエ	東新町東1号線	1982	11.7	3.0	H26	I a		
北町一丁目橋	キタマチイツチョウメ	北町西線	1973	16.1	4.0	H30	Ⅱ	主桁、横桁、床版、下部工に剥離・鉄筋露出が確認される。 伸縮装置本体の変形と、ゴム材の劣化が確認される。	
小谷地川橋	コヤチガワ	駅西第2公園線	2000	5.3	5.0	H26	I b		
小谷地橋	コヤチ	駅西第1公園線	1972	13.5	5.0	H30	Ⅱ	床版、地覆に剥離・鉄筋露出が確認される。支承部の沓座モルタルに欠損が確認される。排水管に腐食による著しい変形・欠損が確認される。	
作野橋	サノ	市民会館西線	1978	4.9	4.3	H26	I a		
中沢極楽橋	ナカザワゴクラク	中沢裏線	1977	7.4	5.3	H27	I a		
中沢河原橋	ナカザワカワラ	中沢裏線	1958	5.0	3.7	H26	Ⅱ	防護柵にひび割れが確認される。	
向原橋	ムカイハラ	行川向原線	1992	16.5	4.0	H26	I a		
桧橋	ヒノキ	林崎行川線	1973	18.4	8.0	H30	Ⅱ	下部工に欠損が確認される。伸縮装置本体の変形と、ゴム材の劣化が確認される。排水管に腐食による著しい変形・欠損が確認される。	
中沢橋	ナカザワ	中沢北線	1979	5.2	3.0	H26	I a		
赤石橋	アカイシ	沼田赤石線	1971	15.7	6.5	H30	Ⅱ	伸縮装置本体の変形とゴム材の劣化が確認される。ガードレールに著しい変形・欠損が確認される。排水管に腐食による変形・欠損が確認される。	
赤石橋(2)	アカイシ	赤石境ノ目線	1995	18.2	7.0	H30	I b		
中宿橋	ナカジユク	湯舟沢線	1981	5.2	4.0	H26	I a		
大原口橋	オハラグチ	大原口線	1985	18.3	8.5	H30	I a		H27年度実施 支承補修(金属用溶射) 排水管補修、再塗装

# 村山市橋梁個別施設計画

道路橋名	フリガナ	路線名	架設年次 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検 実施年度	橋梁全体の 判定区分	所見等 ※変状・損傷の概要 ※判定区分Ⅱ以上を記載	補修履歴
日市場橋	ヒイチハ	日市場線	1964	5.0	3.7	H26	Ⅱ	床版に剥離・鉄筋露出が確認される。	
高来沢橋	コライサワ	本飯田東裏線	1968	3.7	3.7	H26	Ⅱ	地覆に変形・欠損が確認される。	
宮沢橋	ミヤサワ	本飯田東裏線	1968	3.5	2.6	H30	Ⅲ	床版に著しい剥離・鉄筋露出及び鉄筋の腐食が確認される。 主桁に鉄筋露出が確認される。	
五十沢東橋	イサガウヒガシ	五十沢南線	1968	6.0	3.5	H26	I a		
五十沢西橋	イサガウニシ	五十沢南線	1968	2.7	4.6	H30	I a		
拝見橋	ハイケン	赤石拝見線	1997	14.0	5.0	H30	I b		
沼田橋	ヌマタ	沼田赤石線	1968	4.4	8.8	H30	I a		
中屋敷橋	ナカヤシキ	袖崎駅東線	1968	5.6	8.7	H30	I a		
浮沼観音橋	ウキヌマカンノン	浮沼名取線	1984	12.6	9.5	H30	I a		H27年度実施 支承補修(金属溶射) 排水管交換、再塗装
浮沼橋	ウキヌマ	中田浮沼線	1981	11.5	5.6	H28	I a		
山口橋	ヤマグチ	楯岡北河島線	1998	40.0	11.0	H27	I b		
瀬ノ川橋	セノカワ	浮沼中央線	1981	11.0	5.0	H30	Ⅲ	沓座モルタルの欠損、支承の傾斜が確認される。 桁とバラベットの接触していることによる損傷が地覆と床版に確認できる	
裏田橋	ウラタ	裏田線	1967	4.3	5.3	H30	I a		
門前橋	モンゼン	名取門前線	1968	2.8	4.2	H26	I a		
極楽橋	ゴクラク	浮沼西郷小学校線	1981	12.8	4.0	H28	Ⅱ	床版にひび割れが確認される。	H24年度実施 桁塗装工、高欄交換、排水管補修 H25年度実施 支承補修工、伸縮装置交換
共栄橋	キョウエイ	浮沼大楨線	1982	180.5	9.3	H29	Ⅱ	主桁、横桁にひび割れが確認される。排水管の脱落、配線用のハンドホールの変状が確認される。	
番匠面橋	バンショウメン	大久保湯野沢線	1979	18.6	10.0	H26	I a		
下高橋	シモタカ	裏小路線	1979	9.3	4.1	H26	I b		
白山橋	ハクサン	曲松西線	1968	8.0	3.0	H26	I b		
大久保的場橋	オホクボマシバ	高橋線	1983	10.9	4.0	H26	I a		
ひわたし橋	ヒワタシ	稲下大久保線	1981	23.3	5.0	H30	Ⅱ	伸縮装置本体の変形とゴム材の劣化が確認される。	
広面橋	ヒロオモテ	大久保西線	1980	16.8	4.0	H30	Ⅱ	主桁、床版に剥離・鉄筋露出が確認される。	
小屋建橋	コヤタテ	勤労青少年ホーム線	1983	18.4	5.0	H30	I a		
北郷橋	キタゴウ	葉山中グランド線	1980	8.7	4.0	H26	I b		
天神堂橋	テンジノドウ	北山線	1981	13.0	4.5	H26	I a		
めがね橋	メガネ	葉山線	1963	11.3	3.0	H27	Ⅱ	床版及び下部工の石材部に隙間が確認される。防護柵の支柱に欠損が確認される。	
河原前橋	カワラマエ	久保楯線	1954	5.1	4.5	H26	Ⅱ	床版及び下部工に剥離が確認される。	H29年度実施 橋面、断面、下部工補修 防護柵、排水管、水切り設置
湯ノ入橋	ユノイリ	湯ノ入線	1968	3.2	11.8	H30	I a		
矢木沢橋	ヤギサワ	矢木沢線	1978	7.4	2.7	H26	I b		
八幡橋	ヤワタ	湯野沢山際線	1982	5.6	7.2	H30	I a		
塔の沢川橋	トウノサワガワ	湯野沢山際線	1980	7.2	4.0	H30	Ⅱ	PC主桁に橋軸方向のひび割れが確認される。間詰めコンクリートに遊離石灰が確認される。	

# 村山市橋梁個別施設計画

道路橋名	フリガナ	路線名	架設年次 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検 実施年度	橋梁全体の 判定区分	所見等 ※変状・損傷の概要 ※判定区分Ⅱ以上を記載	補修履歴
天神橋	テンジン	富本小学校線	1981	8.7	4.5	H26	I b		
湯の入川橋	ユノイガワ	富本小学校線	1988	7.7	5.0	H26	I b		
下河原橋	シモハラ	下荒田中木田線	1986	13.3	4.0	H26	I b		
上河原橋	カミハラ	上河原線	1970	11.4	2.5	H27	I a		
宮下橋	ミヤタ	白鳥宮下線	1935	4.7	6.5	H30	I a		
白鳥橋	シロトリ	白鳥深沢線	1950	3.6	5.1	H30	I a		
参道橋	サドウ	鷲滝共栄線	1978	3.8	5.5	H30	I a		
大入沢橋	オオイサワ	白鳥深沢線	1993	4.0	7.2	H26	I a		
宮下西橋	ミヤタニシ	宮下中央線	1944	2.5	3.1	H26	Ⅱ	下部工に剥離が確認される。	
黒木沢橋	クロギザワ	黒木沢線	1969	9.4	3.5	H26	I b		
小国沢川橋	オクニサガワ	大槇長峰線	1968	6.8	3.3	H26	I a		
大石橋	オイシ	赤岩線	1976	18.4	5.0	H29	Ⅱ	地覆・高欄、親柱及び袖擁壁にひび割れや剥離が確認される。	
観音橋	カンノン	大高根演習場線	1996	18.7	7.0	H26	I b		
芦沢橋	アシザワ	中原中山大谷地線	1933	3.6	5.4	H26	I a		
里橋	サト	富並川鮭ふ化場線	1969	22.7	2.5	H26	I a		
下小屋橋	シモゴヤ	増沢線	1971	22.5	4.0	H27	Ⅱ	下部工に剥離を伴うひび割れが確認される。支承本体のボルトの緩み及び各座モルタルの破損が確認される。	
泥沢橋	ドロザワ	深沢線	1953	14.6	7.5	H30	Ⅲ	床版及び主桁の広範囲に剥離・鉄筋露出が確認される。伸縮装置からの漏水が確認される。コンクリート製の防護柵に剥離・鉄筋露出が確認される。	
袖宿橋	ソデシュク	中山楯宿線	1931	5.2	4.5	H26	I a		
葉ノ木田橋	ハノキダ	富並東線	1968	3.1	5.4	H30	Ⅱ	床版に剥離・鉄筋露出が確認される。地覆に変形・欠損が確認される。	
笛田橋	フエダ	笛田的場1号線	1987	9.0	5.1	H26	I b		
小国沢橋	オクニサワ	沖みかの瀬線	1987	21.7	8.0	H30	I b		
宝橋	タカラ	湯野沢線	1978	7.7	7.3	H29	Ⅱ		
楯橋	タテ	湯野沢線	1984	9.9	5.5	H26	I a		
窪ノ目西橋	クボノメニシ	金谷原本飯田線	1978	4.5	5.7	H26	I a		
窪ノ目東橋	クボノメヒガシ	金谷原本飯田線	1978	4.5	4.7	H26	I a		
雪の観音橋	ユキノカンノン	三枚平線	1985	30.7	5.0	H29	Ⅲ	主桁支点部に板厚減少を伴う腐食、各座モルタルの欠損が確認される。高欄主ビームの脱落、排水管の腐食が確認される。	
浮沼南橋	ウキヌミナミ	浮沼南線	1984	7.6	4.0	H27	I a		
船渡橋	フナト	最上川遊歩道1号線	1988	7.0	3.0	H26	I b		
雪の吊橋	ユキノツリ	最上川遊歩道1号線	1989	29.0	3.0	H27	Ⅱ	路面の木板・木材に老朽化による損傷が局部的に確認される。	H28年度実施 各座補修(無収縮モルタル) 橋面補修、再塗装
南笛田橋	ミナミフエダ	的場住宅団地1号線	1990	23.8	12.0	H30	I a		
中田橋	ナカタ	中田浮沼線	1978	4.6	5.0	H26	I a		
向田橋	ムカイダ	北口下原線	1990	17.8	3.6	H30	I a		
長峯橋	ナガミネ	弓田長峯線	1987	9.3	4.0	H26	I a		
中村橋	ナカムラ	中村遺跡線	1983	12.4	7.0	H30	I b		

# 村山市橋梁個別施設計画

道路橋名	フリガナ	路線名	架設年次 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検 実施年度	橋梁全体の 判定区分	所見等 ※変状・損傷の概要 ※判定区分Ⅱ以上を記載	補修履歴
神田橋	カダ	湯沢西線	1978	4.3	4.0	H26	I b		
飯島橋	イジマ	飯島一本柳線	1978	3.6	4.0	H26	I a		
滝津川橋	タツガワ	土生田東線	1988	4.1	8.9	H30	I a		
竜神の吊り橋	リュウジンノツリ	最上川遊歩道1号線	1993	157.0	1.5	H28	I b		H26、27年度実施 伸縮装置交換 下部工補修、再塗装
北畑橋	キタハタ	白鳥長善寺線	1994	7.6	7.5	H26	I a		
赤岩橋	アカイ	八反水源地線	1994	52.7	4.5	H29	I a		
新川橋	シンカワ	八反水源地線	1993	18.4	4.5	H26	I a		
七色橋	ナナロ	金谷東浦線	1996	5.0	7.0	H30	Ⅱ	下部工(支承部)に欠損が確認される。地覆に凍害による 剥離・鉄筋露出が確認される。	
河島橋	カワシマ	株川八反線	1994	52.2	7.0	H29	I a		
川口橋	カウチ	長島西山線	1995	42.8	8.0	H28	I b		
若宮神社橋	ワカミヤジノジヤ	若宮神社支線	1997	8.1	5.0	H26	I a		
八反橋	ハツタン	八反線	1997	55.0	2.5	H29	I a		
高来沢橋(2)	コライザワ	若宮神社線	1968	5.5	2.2	H26	Ⅱ	主桁及び地覆に剥離・鉄筋露出が確認される。下部工に変 形・欠損が確認される。	
楯岡名取橋	タテオカトリ	楯岡名取線	1998	3.4	7.0	H26	I a		
北河島橋	キタカワシマ	河島浮沼線	1990	27.8	8.0	H29	I b		
南河島住宅団地橋	ミナカワシマジユウタカダンチ	南河島住宅団地線	1978	7.9	5.0	H26	—		高速道路事業に伴い撤去
駅西橋	エキニシ	駅西線	2000	13.0	22.8	H26	I a		
駅西1号線橋	エキニシイチゴウセン	駅西1号線	2000	3.1	12.0	H26	I a		
駅西北橋	エキニシキタ	駅西4号線	2001	13.0	12.0	H26	I a		
駅西3号線橋	エキニシサンゴウセン	駅西3号線	2000	3.5	6.0	H26	I a		
千座川橋	センザカワ	大久保線	1993	16.7	9.3	H30	I b		
高橋	タカ	大久保線	1977	6.4	7.5	H30	I b		
徳内大橋	トクナイオ	新町南線	2003	254.4	9.0	H28	Ⅱ	床版下面の広範囲で遊離石灰が確認される。	
俵町橋	タラマチ	新町南2号線	2004	13.4	5.0	H26	I a		
本飯田東裏橋	モトイダヒガシウラ	本飯田東裏支線	1968	2.7	4.9	H26	I a		
二十六夜橋	ニジユウロクヤ	中沢不動尊堂線	1989	8.6	4.0	H26	I b		
中沢川橋	ナカザカワ	中沢不動尊堂線	1978	5.0	4.4	H26	I a		
楯岡南河島第一橋	タテオカミナカワシマダイイチ	楯岡南河島線	2000	7.3	8.0	H26	I a		
楯岡南河島第二橋	タテオカミナカワシマダイニ	楯岡南河島線	2000	5.5	8.0	H26	I a		
源太河原橋	ゲンタカハラ	楯岡南河島線	2002	16.7	5.0	H26	I a		
東新町橋	ヒガシシンマチ	新町馬場線	1974	58.9	16.0	H26	I a		
新町ふれあい橋	シンマチフレアイ	楯岡ローズタウン1号支線	2012	7.8	3.2	H29	I a		
滝ノ沢橋	タキノザワ	土海在家新田線	1990	6.8	4.0	H28	I a		
三丁目橋	サンチョウメ	新町三丁目橋線	1983	4.5	2.5	H30	Ⅲ	橋台橋座支点部に剥離が確認される。	